

# Backyard Shade Recta

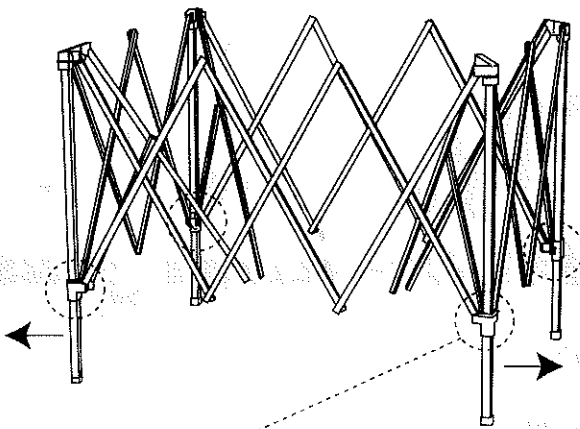
この度はバックヤードシェードレクタをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
シェード設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。  
また、石や木の枝等、シェードを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体フレーム	1ヶ
●シート	1張
●自在ロープ	4本
●STピンベグ	8ヶ

## 設営手順

### STEP 1 本体フレームを広げ、組立てる



ボタンロック

図1

- ①本体フレームの脚部を4本とも均等に外に押し広げてください。

**△ 注意**  
設営は二人以上で行ってください。  
無理に広げるとフレーム破損の原因となります。

- ②屋根のフレームを押し上げながら、各コーナーのボタンロックをしっかりかけてください。(図1)

**△ 注意**  
必ず屋根のフレームがカチッとハマるまで押し上げてください。  
指を挟まないようご注意ください。

**△ 注意**  
ロックを解除する際は、操作を必ず手で行ってください。  
固い棒等でボタンロックを押し込むと、破損の原因となります。  
ロックが固い場合は、フレームを手で押し上げながらボタンを押すと、簡単に外せます。

### STEP 2 シートを本体フレームに取付ける

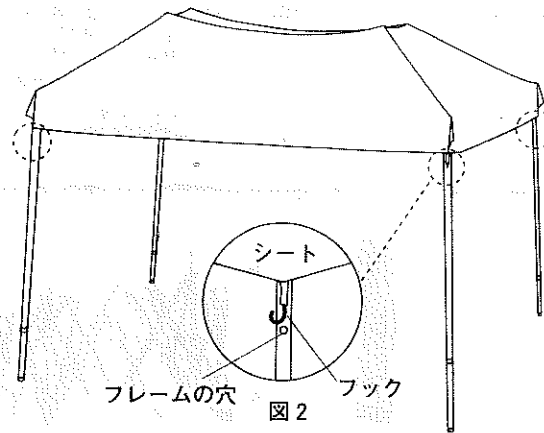


図2

- ①シートを本体フレームの上から被せ、四隅を合わせます。
- ②四隅のフックをフレームの穴に掛けます。(4カ所)(図2)

### STEP 3 脚部を伸ばす

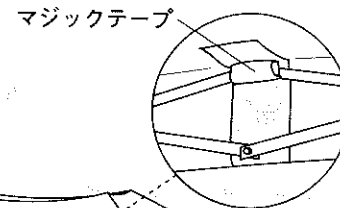


図4

- ①図のように本体フレームの脚部を伸ばしてください。(図3)
- ②脚部のスライダーの穴にロックボタンをしっかりかけてください。

**△ 注意**  
脚部は高さ2段階調節のため、穴が2つ空いています。  
四本の脚部が同じ長さでロックされ、屋根が地面と平行になっているか確認してください。  
脚部を伸ばし過ぎると外れる場合がありますので、注意してください。

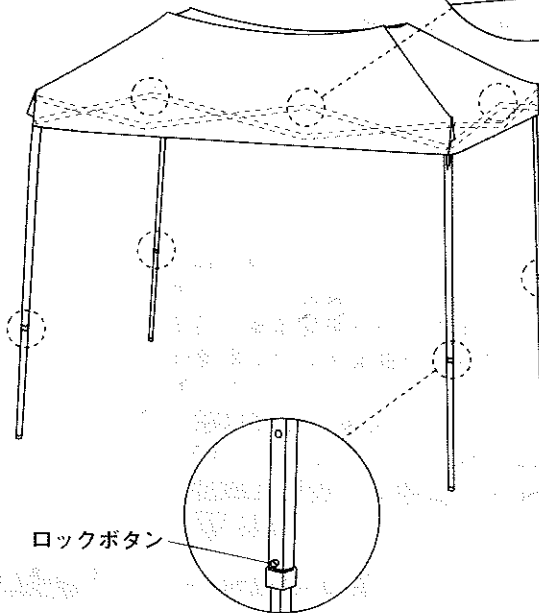
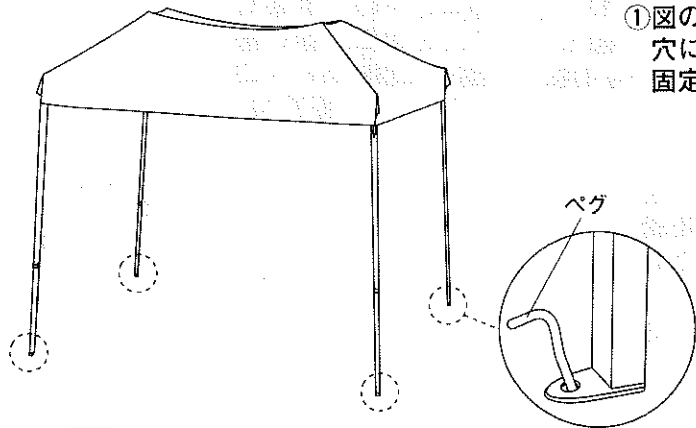


図3

- ③シート内側に付いているマジックテープでシートをフレームに固定してください。(図4)

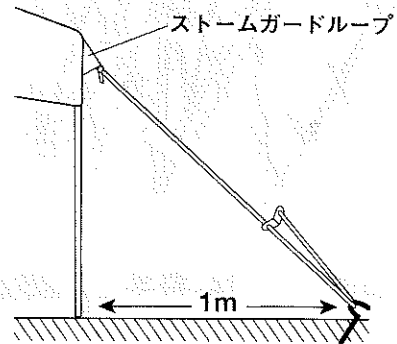
## STEP 4 設営位置を決めシェードを固定する

- ①図のように必ず四隅の足の穴にペグ打ちをし、本体を固定してください。



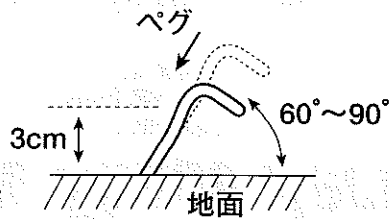
## STEP 5 風対策 (ストームガードの活用)

- ①自在ロープの端をストームガードのループに結びます。  
 ②左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。  
 ③自在をしめあげて、フレームが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



**△ 注意**  
 バックヤードシェードレクタはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。ストームガードを必ずご活用ください。構造上屋根の中心部がヘコンでいますので雨水がたまらないように注意してください。

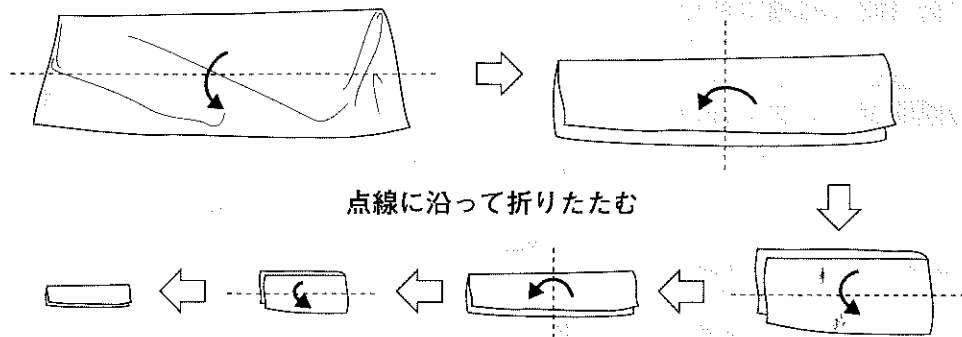
ペグは60°～90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。



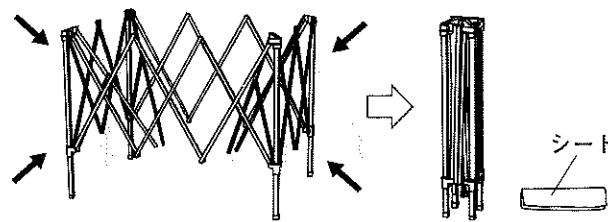
## STEP 1 シートをたたむ

**△ 注意**  
 収納する時には必ずシートを本体フレームから外してください。シートがフレームにかみ込み、傷・破れ等の原因になる恐れがあります。

- ①本体フレームを低い状態にしてからシートを外します。  
 ②シートを裏返しにします。  
 ③シートの四隅をきれいに広げてから、下図のようにしてたたみ、収納します。



## STEP 2 フレームを収束させてからキャリーバッグにしまう



- ①各コーナーのボタンロックを押して外し、フレームを中心方向に縮めていきます。  
 ②折りたたんだシートとフレームをキャリーバッグにしまいます。

**△ 取扱上の注意**

- 強風、台風・暴風雨の際は危険ですので、シェードのご使用はお避けください。
- シェード内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設営してください。

**△ 収納・保管の注意**

- 収納する時には必ずシートを本体フレームから外してください。シートがフレームにかみ込み、傷・破れ等の原因になる恐れがあります。
- ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。
- 生地破れなどは市販のリペアキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 幼児・子供の手の届かないところに保管してください。